

【参考資料①】平成28年度ヒアリングの際の事前質問項目と担当課回答

ID75:砂像のまちと通りの推進(鳥取砂丘・ジオパーク推進課)

No	各委員からの質問・意見	区分	回答・説明
75-1	砂の美術館の入館者は指標として挙がっているが、このように砂像のまちに力を入れてきた結果、経済波及効果というか、どのような効果(変化)が生まれてきたかが教えてほしい。	質問	<p>《砂の美術館経済波及効果》</p> <p>平成25年度 133億6,000万円(入館者数555,355人)</p> <p>平成26年度 112億2,000万円(入館者数464,377人)</p> <p>平成27年度 119億3,000万円(入館者数479,117人)</p> <p>※平成27年度第8期展示アンケート結果から、来場者の95.4%が砂の美術館の印象は良いという高い評価をいただくとともに、88.2%を県外者が占め、また62.2%が宿泊され、砂の美術館が地域経済の活性化や滞在型観光の充実に大きく貢献することができたと考えています。</p>
75-2	砂の美術館だけではなく砂丘周辺さらには鳥取市内の宿泊者数などエリアでの経済波及効果というものを見積もっていく必要があるかと思う。	意見	<p>上述のとおり、砂の美術館にお越しいただき、市内の飲食、お土産施設や宿泊施設で経済活動をされた方を対象に経済効果を算出しております。</p> <p>※算出方法は鳥取県が示す計算手法に基づく</p>
75-3	砂の美術館の収支決算が知りたい。	質問	<p>《砂の美術館収支》</p> <p>平成25年度 入館料収入280,936,285円、支出200,133,590円(入館者数555,355人)</p> <p>平成26年度 入館料収入229,726,724円、支出271,911,515円(入館者数464,377人)</p> <p>平成27年度 入館料収入236,734,680円、支出231,157,438円(入館者数479,117人)</p> <p>※平成26年度には、プロジェクションマッピングの追加開催や砂像用の砂購入、授乳室などの設備投資が発生しました。</p> <p>※支出については、ジオパーク推進課の歳出で砂の美術館関連経費を積み上げたもので、この他広報PR経費や施設整備に係る起債償還金等は含まれていません。</p>
75-4	今は砂の美術館の収支はおそらく黒であると思うが、今後の見通しと計画(指定管理者をどうしていくかということも含めて)を教えてください。	質問	<p>指定管理期間を砂の美術館の会期に合わせ公募することで、テーマに沿った砂像制作、運営管理までを一連の業務で実施することができ、競争性、公平性及び透明性を確保しながら施設の運営意欲の向上を図ります。(指定管理者選考にあたっては公募での募集を予定しています。)</p> <p>なお、来年度第10期展示については、今年度から開始される準備業務の連続性や短い指定管理期間での引継が困難であることを考慮し、会期終了までの10ヶ月間、現指定管理者への指名指定が望ましいと考えています。</p>
75-5	砂像選手権の概要が分かるような資料があればもらいたい。	質問	<p>現在当初予算査定の中で事業内容について精査を行っております。</p>
75-6	経済効果がどの程度なのか、地域の住民の盛り上がりもかけている。判断しにくい。	質問	<p>経済効果についてはNo. 75-1を参照してください。市民の盛り上がりという点については、小学校の授業の教一環として砂像製作を行ったり、鳥取空港職員による砂像作成展示でのお出迎えなどが行われていますし、現在検討中の砂像選手権などのイベント実施により鳥取砂丘や砂像への機運が高まっていくものと考えています。</p>
75-7	行政が主体となって取り組むべき事業か疑問。	質問	<p>砂の美術館の運営やイベント企画などは指定管理者が主体となって実施しています。</p>
75-8	催し物を変えて観光人口を増やす工夫をされているが、施設内に観光客がとどまりたくなるようなものが足りないのではないかと。	意見	<p>プロジェクションマッピングなどのイベントのほか、砂像製作体験コーナーや鳥取砂丘を望む展望設備などを整備しています。</p>